



## 政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。



### 調査員記入欄

都道府県名		保健所名					
地区番号		単位区番号		世帯番号			

2022年社会保障・人口問題基本調査

# 生活と支え合いに関する調査

## 【個人票】

2022（令和4）年7月1日

この調査票は統計目的以外には使用しませんので、ありのままをご記入ください。

厚生労働省 国立社会保障・人口問題研究所  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3  
日比谷国際ビル6階  
電話(03)3595-2984 内線4455、4457  
<http://www.ipss.go.jp>

政府統計 コード	厚生労働省 社会保障・人口問題基本調査 (生活と支え合いに関する調査)	調査対象者ID (世帯員)	ここにID・パスワードを 貼り付けてください
		世帯員 パスワード	

### 記入上のお願い

○2022（令和4）年7月1日現在で記入してください。

○普段住んでいる同じ世帯の人で18歳以上の方は、もれなく記入してください。  
出張や旅行、病気などで、不在、同居していない場合、その期間が1か月未満なら、  
普段住んでいる人に含めます。

○世帯の18歳以上の方の人数を、調査員にお申し付けください。

○原則としてご本人が記入してください。

○病気、障害、介護を必要としているなどの理由でご本人が記入できない場合は、以下の  
方法で回答できますので、あてはまる枠にチェックをいれてください。

・ご本人が回答を伝え、家族・介護者などが記入を手伝う。→

・ご本人の意思表示が難しい場合、家族・介護者などが本人の意向をくみとって回答する。→

○回答の仕方は、あてはまる番号を選んで○をつけるものと、（ ）や  に必要な  
事柄を書きこむものがあります。

○回答の仕方がわからないときは、調査員におたずねください。

## あなたの健康や医療・介護・年金のことについておたずねします。

問1 あなたの現在の健康状態はいかがですか（〇は1つ）。

1 よい      2 まあよい      3 ふつう      4 あまりよくない      5 よくない

問2 あなたには、過去6か月以上にわたって、周りの人が通常おこなっているような活動について、あなた自身の健康上の問題による制限がありましたか（〇は1つ）。

1 非常に制限があった      2 制限はあったがひどくはなかった      3 まったく制限はなかった

問3 長生きすることは良いことだと思いますか（〇は1つ）。

1 とてもそう思う      2 ややそう思う      3 あまりそう思わない      4 まったくそう思わない

問4 （1）次の①～⑥の質問について、過去1か月の間はどのようでしたか（〇はそれぞれ1つ）。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく ない
① 神経過敏に感じましたか。	1	2	3	4	5
② 絶望的だと感じましたか。	1	2	3	4	5
③ そわそわ落ち着かなく感じましたか。	1	2	3	4	5
④ 気分が沈み込んで、何が起ころうとも 気が晴れないように感じましたか。	1	2	3	4	5
⑤ 何をするのも骨折ரிだと感じましたか。	1	2	3	4	5
⑥ 自分は価値のない人間だと感じましたか。	1	2	3	4	5

（2）あなたは、心の問題についての公的な相談機関（精神保健福祉センター、こころの健康相談統一ダイヤルなどの自殺防止の相談窓口）を知っていますか。

1 知っている      2 知らない

（付問）「知っている」と答えた方におたずねします。あなたは、気分が落ち込んだり不安を感じた際に、そうした機関に実際に相談したことがありますか。

1 ある      2 ない

問5 あなたは、過去1年間に、病院や診療所での受診や治療が必要と思われるほどの病気やケガをしましたか

1 した      2 しなかった

（付問）その際、実際に病院や診療所を受診し、治療を受けましたか。

1 つねに受診・治療をした      2 受診・治療をしなかったことがある

問6 あなたは過去1年間に、職場や学校での健診（人間ドックを含む）、または自治体実施する健診（がん検診などを含む）のいずれかを受診しましたか。

1 受診した      2 受診しなかった

問7 20歳以上60歳未満の方で公的年金を受給していない方におたずねします。  
あなたの公的年金への加入状況をお答えください（〇は1つ）。

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1 国民年金第1号被保険者（自営業者や学生等）          |
| 2 国民年金第2号被保険者（会社員や公務員等）          |
| 3 国民年金第3号被保険者（会社員や公務員等の配偶者）      |
| 4 公的年金に加入していない（加入手続きをおこなっていないため） |
| 5 自分がどの公的年金に加入しているのか、わからない       |

（付問）国民年金第1号被保険者の方におたずねします。

過去1年間に、免除・猶予された場合を除き、国民年金の保険料を納めなかったことがありますか。

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| 1 ない（免除・猶予を含め、すべて納めた） | 2 ある |
|-----------------------|------|

問8 現在、どなたかの介護をしていますか。仕事での介護従事は除いてお答えください。  
している場合、それはどなたですか（〇はいくつでも）。

- |         |        |         |       |       |
|---------|--------|---------|-------|-------|
| 1 している  | 1 自分の親 | 2 配偶者の親 | 3 配偶者 | 4 子ども |
| 2 していない | 5 祖父母  | 6 きょうだい | 7 親戚  | 8 その他 |

問9 40歳以上の方におたずねします。

（1）一か所だけ選ぶとしたら、あなたが寝たきりになった場合、どこで介護を受けたり療養したり  
したいですか（〇は1つ）。

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 1 介護保険の施設   | 2 有料老人ホームなどの高齢者専用住宅 |
| 3 病院などの医療機関 | 4 自宅（子どもの自宅も含みます）   |
| 5 その他（具体的に  | ）                   |

（2）ここ10年で家族・近親者、近い方を看取った経験（※）について、  
あてはまるものをすべて選んでください。

- |              |            |           |
|--------------|------------|-----------|
| 1 看取った経験は無い  | 2 自分の家族    | 3 家族以外の親族 |
| 4 友人など近い関係の人 | 5 知人やご近所の方 |           |

（※）ここでは、お亡くなりになる前の1年くらいの間に食事、見守り、介護・看護、生活支援  
をおこなった経験を言います。

（3）あなたはご自身の死や死後について、次に挙げる1～6の準備をしたり、考えたりしていますか。  
「2 はい」と答えた方におたずねします。内容について家族や友人などと具体的に話していますか。  
どちらか1つを選んでください（〇はそれぞれ1つ）。

	(A) 準備をしたり、考えたりしているか	(B) 内容について家族や友人などと具体的に話しているか
① 扶養している方の生活	1 いいえ 2 はい →	1 いいえ 2 はい
② 資産（持ち家など）や負債の整理	1 いいえ 2 はい →	1 いいえ 2 はい
③ 自分の葬儀や墓のこと	1 いいえ 2 はい →	1 いいえ 2 はい
④ あなた自身の後見人・補佐人の選定	1 いいえ 2 はい →	1 いいえ 2 はい
⑤ 人生の最終段階で受けたい医療	1 いいえ 2 はい →	1 いいえ 2 はい
⑥ その他	1 いいえ 2 はい →	1 いいえ 2 はい

問10 あなたは障害者手帳（身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳）をお持ちですか（〇はいくつでも）。

- 1 どれも持っていない
- 2 身体障害者手帳1・2級
- 3 身体障害者手帳3～6級
- 4 療育手帳重度（A、A1・A2・A3、1度・2度など）
- 5 療育手帳その他（B・C、B1・B2、3度・4度など）
- 6 精神障害者保健福祉手帳（1級）
- 7 精神障害者保健福祉手帳（2・3級）

（付問）いつごろから障害をお持ちですか（〇は1つ）。

※障害者手帳の取得前も含みます。障害がだんだん始まった方は、生活に影響し始めた時を、障害を複数お持ちの方は、一番早い時点をお答えください。

- |           |         |           |
|-----------|---------|-----------|
| 1 生まれつき   | 2 17歳以前 | 3 18歳～39歳 |
| 4 40歳～64歳 | 5 65歳以降 | 6 わからない   |

### あなたの仕事に関わる経験についておたずねします。

問11 あなたは現在、収入をとまなう仕事をしていますか（〇は1つ）。

- |   |  |
|---|--|
| 1 仕事をしている<br>（休業、休職中を含みます。<br>学生のアルバイトは除きます。） | 2 仕事をしていない<br>（高校生・大学生の方、学生の<br>アルバイトはこちらになります。） |
|---|--|

（付問1）仕事をしていない方におたずねします。現在仕事を探しておられますか（〇は1つ）。

- |                       |
|-----------------------|
| 1 仕事を探している            |
| 2 仕事を探していない、または、学生である |

（付問2）現在も含め、あなたはこれまでに収入をとまなう仕事をしたことがありますか（〇は1つ）。

- |   |        |
|---|--------|
| 1 これまでに収入をとまなう仕事をしたことがある<br>（学生のアルバイトは除きます） | → 問14へ |
| 2 これまでに収入をとまなう仕事をしたことがない                    | → 問16へ |

問12へ

問12 あなたの、先週の仕事時間についておたずねします。交代制勤務など就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

(1) あなたは、仕事に行くために何時ごろに家を出ましたか。  
在宅で仕事をされている方は、何時ごろから仕事を始めましたか

1	午前	2	午後
( )		時ごろ	

(2) あなたは、仕事から帰ってくると何時ごろに家に着きましたか。  
在宅で仕事をされている方は、何時ごろ仕事を終えましたか。

1	午前	2	午後
( )		時ごろ	

(0時から12時の範囲でお答えください)

問13 現在仕事をされている方におたずねします。

(1) 仕事の内容、(2) 勤めか、自営かの別、  
(3) 勤め先での呼称(呼び名)、(4) 勤め先の規模、官公庁か、について

下記よりそれぞれ あてはまるものを選んでください(それぞれ〇は1つ)。

・2つ以上の仕事をしている方は、主な仕事についてお答えください(学生のアルバイトは除きます)。

(1) 仕事の内容 (あなたが職場で具体的にしていた主な業務や作業)		
1 管理的職業	2 専門的・技術的職業	3 事務的職業
4 販売の職業	5 サービスの職業	6 保安の職業
7 農林漁業の職業	8 建築・土木・電気等の職業	9 輸送・機械運転の職業
10 建設・採掘の職業	11 運搬・清掃・包装等の職業	12 その他 ( ) の ( ) をする

(2) 勤めか 自営か の別		
1 会社・団体の役員	2 一般常雇者(契約期間が1年以上 または雇用期間に定めがない者)	3 1月以上1年未満の契約の雇用者
4 日々又は1月未満の契約の雇用者	5 自営業(雇人あり)	6 自営業(雇人なし)
7 家族従業者(自家営業の手伝い)	8 内職	9 その他

(3) 勤めの方のみ: 勤め先での呼称		
1 正規の職員・従業員	2 パート	3 アルバイト
4 労働者派遣事業所の派遣社員	5 契約社員・嘱託	6 利用者(障害者就労継続支援)
7 その他		

(4) 勤めの方のみ: 勤め先の規模・官公庁の別		
1 1~4人	2 5~29人	3 30~99人
4 100~299人	5 300~499人	6 500~999人
7 1000~4999人	8 5000人以上	9 官公庁

(5) 過去1か月でのお仕事のあなたのテレワークの割合について、最もあてはまるものを選んでください(〇は1つ)。

(※) テレワークとは情報通信技術を利用し、在宅または在宅以外(サテライトオフィス勤務・モバイル勤務)で行う事業場外勤務を言います。

1	テレワークが7割以上
2	テレワークは4~6割程度
3	テレワークは1~3割程度
4	テレワークはほぼ、あるいはまったくしていない

問14 あなたの学校卒業後最初についておたずねします。

- (1) 仕事の内容、(2) 勤めか、自営かの別、  
 (3) 勤め先での呼称(呼び名)、(4) 勤め先の規模、官公庁か、について  
 下記よりそれぞれ あてはまるものを選んでください(それぞれ○は1つ)。  
 ・2つ以上の仕事をしていた方は、主な仕事についてお答えください。

(1) 仕事の内容 (あなたが職場で具体的にしていた主な業務や作業)		
1 管理的職業	2 専門的・技術的職業	3 事務的職業
4 販売の職業	5 サービスの職業	6 保安の職業
7 農林漁業の職業	8 生産工程の職業	9 輸送・機械運転の職業
10 建設・採掘の職業	11 運搬・清掃・包装等の職業	12 その他( )の( )をする)

(2) 勤めか 自営か の別		
1 会社・団体の役員	2 一般常雇者(契約期間が1年以上 または雇用期間に定めがない者)	3 1月以上1年未満の 契約の雇用人
4 日々又は1月未満の契約の雇用人	5 自営業(雇人あり)	6 自営業(雇人なし)
7 家族従業者(自家営業の手伝い)	8 内職	9 その他

(3) 勤めの方のみ： 勤め先での呼称		
1 正規の職員・従業員	2 パート	3 アルバイト
4 労働者派遣事業所の派遣社員	5 契約社員・嘱託	6 利用者(障害者就労継続支援)
7 その他		

(4) 勤めの方のみ： 勤め先の規模・官公庁の別		
1 1～4人	2 5～9人	3 30～99人
4 100～299人	5 300～499人	6 500～999人
7 1000～4999人	8 5000人以上	9 官公庁

問15 お仕事をされた経験がある方におたずねします。

- (1) 学校卒業後最初のお仕事に就いたときのあなたの暮らし向きはいかがでしたか(○は1つ)。

1 大変ゆとりがあった
2 ややゆとりがあった
3 普通
4 やや苦しかった
5 大変苦しかった

- (2) そのときの生活費用の担い手はどなたでしたか(○はいくつでも)。

1 自分	5 きょうだい	9 公的支援
2 父親	6 配偶者	10 その他
3 母親	7 子ども	
4 祖父母	8 その他の親戚	

## あなた自身のことについておたずねします。

問16 あなたのことについておたずねします。あてはまるものに○をつけ、カッコ内を記入してください。

(1) 性別	(2) 出生年月	(3) 世帯主とあなたとの関係	(4) あなたのご兄弟姉妹
1 男性	1 明治 ( ) 年	1 世帯主本人	7 子の配偶者
	2 大正 ( ) 月	2 配偶者	8 孫
2 女性	3 昭和 ( ) 月	3 きょうだい	9 孫の配偶者
	4 平成 生まれ	4 親	10 祖父母
	5 西暦	5 配偶者の親	11 その他の親戚
		6 子	12 その他 ( )
			※ご存命の方の人数を記入してください。(いらっしやらない場合は「0」人と記入してください)。

問17 あなたの婚姻状況についておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

(「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含まれます。)

1 未婚	2 配偶者あり	3 死別	4 離別
------	---------	------	------

(付問1) 初婚ですか、再婚ですか。

1 初婚    2 再婚

(付問3) 死別・離別したのはいつですか。  
※死別・離別を複数回ご経験された方は、最後に死別・離別をされた年をお答えください。

(付問2) 現在の配偶者と結婚したのはいつですか。

大正  
昭和  
平成 ( ) 年  
令和  
西暦

大正  
昭和  
平成 ( ) 年  
令和  
西暦

問18 (1) ① 現在と、② 15歳の頃の(A)あなたの暮らし向きと、(B)あなたの生活費用の担い手についておたずねします。(Aは○は1つ、(B)はあてはまるものすべてに○をつけてください。)

	(A)あなたの暮らし向き	(B)あなたの生活費用の担い手		
① 現在	1 大変ゆとりがある	1 自分	5 きょうだい	9 公的支援
	2 ややゆとりがある	2 父親	6 配偶者	10 その他
	3 普通	3 母親	7 子ども	
	4 やや苦しい	4 祖父母	8 その他の親戚	
	5 大変苦しい			
② 15 歳 の 頃	1 大変ゆとりがあった	1 自分	5 きょうだい	
	2 ややゆとりがあった	2 父親	6 その他の親戚	
	3 普通	3 母親	7 公的支援	
	4 やや苦しかった	4 祖父母	8 その他	
	5 大変苦しかった			

(2) あなたが15歳の頃に、あなたの世帯は生活保護を受けていましたか(○は1つ)。

1 受けていた	2 受けていなかった	3 わからない
---------	------------	---------

問19 あなたが(1)最後に通った(あるいは通っている)学校は次のどれにあたりますか(○は1つ)。また(2)その学校の卒業の有無を記入してください。

(1) 最後に通った(通っている)学校	(2) その学校の卒業の有無
1 小・中学校(尋常小学校、高等小学校、新制中学校)	1 卒業した 2 退学した 3 在学中
2 高校(旧制中学校、旧制実業学校、新制高校)	
3 高専(旧制高校、新制高専)	
4 短大	
5 大学・大学院(旧制・新制)	
6 その他(専修学校、専門学校)	

問20 あなたは、親と離れて別の世帯で暮らしたことがありますか。

1 ない(現在も親と同居している)    2 ない(親が亡くなるまで一緒に暮らしていた)    3 ある

(付問1) 「ある」の方は、最初に親と別世帯で暮らした時の理由は何ですか(○はいくつでも)。

1 入学・進学など	5 親の都合
2 就職・転職・転職など	6 親からの自立・独立のため
3 結婚・同様など	7 その他の理由
4 住宅事情や通勤・通学の便など	(具体的に )

(付問2) 最初に親と別世帯で暮らしたときの、あなたの暮らし向きはいかがでしたか(○は1つ)。

1 大変ゆとりがあった	4 やや苦しかった
2 ややゆとりがあった	5 大変苦しかった
3 普通	

(付問3) そのときの生活費用の担い手は誰でしたか(○はいくつでも)。

1 自分	4 祖父母	7 子ども	10 その他
2 父親	5 きょうだい	8 その他の親戚	
3 母親	6 配偶者	9 公的支援	

問21 昨年1年間のあなたの収入(税・社会保険料を引いた後の手取りの金額)についておたずねします。収入がある場合は、金額を右欄に記入してください。

1 収入あり	昨年1年間のあなたの収入 (税・社会保険料を引いた後の手取りの金額) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td>億</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> <td>一</td> <td></td> </tr> </table> 万円							億	千	百	十	一	
億	千	百	十	一									
2 収入なし													

- ・仕事からの収入、利子、配当、家賃・地代の収入、年金などの社会保障給付・手当、仕送りを含みます。
- ・サラリーマン、パート、アルバイトによる収入(給与所得)には、ボーナスは含みますが退職一時金は含みません
- ・給与所得以外の収入は、収入の総額から事業などの必要経費、税・社会保険料を引いた額をお答えください。

## あなたの、家族や社会との関係についておたずねします。

問22 先週、あなたは何日外出しましたか。仕事や外食、買い物や遊びなどを含めて、ご自宅の外に出かけた日数をお答えください。

1 外出していない    2 外出した → (週)  日  
(1日から7日の範囲でお答えください。)

問23 あなたは普段の生活の中で、趣味や余暇などリフレッシュのために自由に使える時間が、平均すると1日にどのくらいありますか。 (1日平均)  時間

問24 (1) あなたはふだんの程度、人と会話や世間話をしますか (〇は1つ)。  
(家族との会話や電話でのあいさつ程度の会話も含みます。)

- |          |           |                |
|----------|-----------|----------------|
| 1 毎日     | 2 2~3日に1回 | 3 4~7日(1週間)に1回 |
| 4 2週間に1回 | 5 1か月に1回  | 6 ほとんど話をしない    |

(2) あなたはふだん人との会話・コミュニケーションに、どのような方法・手段を利用していますか。  
あてはまるものすべてに〇をつけてください。

- |                |                   |                           |
|----------------|-------------------|---------------------------|
| 1 対面で会う        | 2 電話で会話する         | 3 電子メール、ショートメッセージのやり取りをする |
| 4 SNS上でやり取りをする | 5 オンライン会議アプリで会話する | 6 手紙・はがきのやり取りをする          |

問25 あなたは、どの程度、孤独を感じることがありますか (〇は1つ)。

- |              |            |          |
|--------------|------------|----------|
| 1 常に・しばしば感じる | 2 時々感じる    | 3 たまに感じる |
| 4 ほとんど感じない   | 5 まったく感じない |          |

問26 あなたが現在お住まいのご近所には、日常生活において手助けや支援を必要とする人がいらっしゃいますか。

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 手助けや支援を必要としている人が近所に住んでいる。        |
| 2 手助けや支援を必要としている人は近所には住んでいない。      |
| 3 手助けや支援を必要としている人が近所に住んでいるのかわからない。 |

1と答えた方におたずねします。

あなたは、ご近所の手助けや支援が必要な人に対して、どのように接していますか (〇は1つ)。

- |                           |
|---------------------------|
| 1 関わらないようにしている。           |
| 2 日常的にあいさつや立ち話などをしている。    |
| 3 ご近所の方の悩みや相談事を聞いている。     |
| 4 現在、生活の手助けをしているご近所の方がいる。 |

2、3と答えた方におたずねします。

手助けや支援を必要としている人がご近所に住んでいたら手を貸しますか。

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

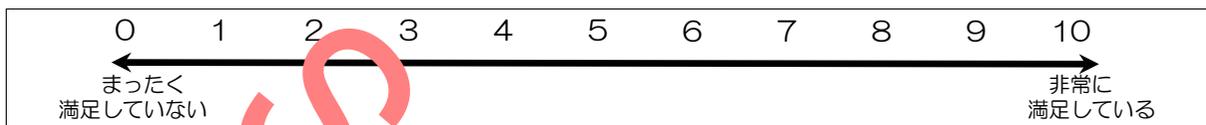
問27 あなたは、ふだん選挙の時に投票に行っていますか (〇は1つ)。

- |           |               |                   |        |
|-----------|---------------|-------------------|--------|
| 1 必ず行っている | 2 できるかぎり行っている | 3 忙しくて行くことができていない | 4 行かない |
|-----------|---------------|-------------------|--------|

問28 (1) 生活上の困難（失業や低所得、病気、障害や要介護の状態など）への対応や社会保障制度についてのあなたのお考えをおたずねします。以下の①～③の問いについて、あなたのお考えに近いものにそれぞれ1つ〇をつけてください。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
① 生活上の困難を解決するために、地域の人々はお互いに協力すべきである。	1	2	3	4
② 生活上の困難は、自分自身や家族による自助努力で克服すべきである。	1	2	3	4
③ 社会保障は、所得や支払っている保険料の額によらず、だれもが必要に応じて利用できるべきである。	1	2	3	4

(2) 全体的にみて、あなたは今の生活にどのぐらい満足していますか。0を「まったく満足していない」、10を「非常に満足している」とすると、どのぐらいの数字になりますか（数字に〇を1つ）。



問29 あなたは次に挙げる(1)～(9)の事柄で頼れる人はいますか。また、「1 いる」と答えた方におたずねします。それはだれですか（あてはまる番号すべてに〇をつけてください）。

	(A) 頼れる人いますか	(B) それは誰ですか					
		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	介・民生福の社委員人・員	その他の人
(1) 子どもの世話や看病	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
(2) (子ども以外の) 介護や看病	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
(3) 重要な事柄の相談	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
(4) 愚痴を聞いてくれること	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
(5) 悩みを聞いてくれること	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
(6) 喜びや悲しみを分かち合うこと	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
(7) いざという時のお金の援助	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
(8) 日頃のちょっとしたことの手助け	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6
(9) 家を借りる時の保証人を頼むこと	1 いる 2 いない 3 そのことでは人に頼らない	1	2	3	4	5	6

問30 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。

1 いる	2 いない
------	-------

**お子さんがいらっしゃらない方は、ここで質問終了です。**

**お子さんがいらっしゃる方に、おたずねします。**

問31 ご健在のお子さんについて、性別と生年月および同別居を記入してください。  
6人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。

第1子	男・女	大正・昭和・平成・令和・西暦	( )年( )月生まれ	同居・別居
第2子	男・女	大正・昭和・平成・令和・西暦	( )年( )月生まれ	同居・別居
第3子	男・女	大正・昭和・平成・令和・西暦	( )年( )月生まれ	同居・別居
第4子	男・女	大正・昭和・平成・令和・西暦	( )年( )月生まれ	同居・別居
第5子	男・女	大正・昭和・平成・令和・西暦	( )年( )月生まれ	同居・別居

**以下は、18歳未満のお子さんがいらっしゃる方におたずねします。**

問32 あなたの子育ての状況についておたずねします。  
次の問いについて、もっとも実態に近いと思われる番号1つに○をつけてください。

	とてもはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1) 自分は子どもをうまく育てていると思う	1	2	3	4
(2) 子どものことで、どうしたらよいかわからなくなることがある	1	2	3	4
(3) 子どもに関わる時間が十分に作れない	1	2	3	4
(4) 気持ちに余裕をもって子どもに接することができない	1	2	3	4
(5) つい大きな声で子どもを怒鳴ってしまうことがある	1	2	3	4
(6) つい子どもを叩いてしまうことがある	1	2	3	4

問33 あなたは現在、次の制度を利用していますか。利用しているものすべてに○をつけてください。

1 保育所(園)・幼稚園	2 学童保育	3 延長保育
4 障害のある子どもへのサービス	5 短時間勤務制度	6 その他のサービス
7 どれも利用していない		

問34 あなたは「子ども食堂・地域食堂」を知っていますか。

1 地域にあることを知っている	2 テレビなどでみて知っている	3 知らない
-----------------	-----------------	--------

(付問) 「知っている」と答えた方におたずねします。子ども食堂を利用したことはありますか。

1 ある	2 ない	3 必要ない
------	------	--------

- これで記入は終わりです。もう一度、記入漏れがないかご確認ください。
- ご回答いただいた調査票は、世帯員および世帯員全員の個人票をあわせて回収用の封筒に入れ、のり付けしたうえで7月8日までにご投函いただくか、それ以降は調査員にお渡しください。

ご協力ありがとうございました。